



看護

No,93

くまもと

発行日 平成27年5月15日

発行者 高島和歌子

編集者 熊本県看護協会事務局

発行所 公益社団法人 熊本県看護協会
熊本市東区東町3丁目10番39号
TEL 096-369-3203
FAX 096-369-3204
URL <http://www.kna.or.jp>

会員数 14,423名
(平成27年5月1日現在)

平成27年度
公益社団法人熊本県看護協会通常総会

特集号



会長あいさつ

熊本県看護協会 会長
高島 和歌子



新緑の季節を迎え、会員の皆様には益々お元気でご活躍のことと存じます。

今年度も、公益社団法人として、より一層看護職能団体としての社会的責任を果たすよう、理事・職員ともに新たな気持ちで事業に取り組みます。会員の皆様のご支援とご協力をお願い申し上げます。

さて、今年度の熊本県看護協会の重点事項は4つ上げております。

①地域包括ケアシステムにおける看護職の役割発揮の推進 ②働き続けられる労働環境改善の推進 ③看護の質向上のための継続教育の充実 ④県民への健康づくりの支援活動の推進です。その他、高齢者ケアにかかる看護職の支援や訪問看護ステーションサポートセンター運営をとおして県内の訪問看護師支援の強化にも努めてまいります。また、ナースセンターでは看護師確保対策の一つとして潜在看護師の再就業支援の研修を続けます。新しい研修として、55歳以上の看護職セカンドキャリア支援研修、看護補助者活用のための看護管理者研修を始めます。

それから、看護職の離職時の届け出制度が10月に始まります。離職する人は、県看護協会のナースセンターに届け出ると、看護職を求めている病院施設等の様々な情報取得がしやすくなります。大事な看護職のライセンスを離職後も、すぐ別なところで活かしていただきたい。そのための届け出制度です。

5月・6月の予定についてお知らせします。

5月13日(水)「看護の日」を鶴屋ホールで開催し、特別講演は元NHKアナウンサー宮田修氏による「日本人は“命”をどう考えてきたか」と題してお話があります。看護職だけでなく一般市民の方の参加を願っています。5月23日(土)は代議員研修会を開催します。今年の日本看護協会総会(6月9・10日)に出席予定の代議員と予備代議員のための研修会ですので、代議員・予備代議員の方は是非ご出席をお願いいたします。5月24日(日)は「介護報酬改定説明会」(参加費無料、資料代のみ)を開催します。

6月17日(水)認定看護管理者ファーストレベルの開講式を行います。6月20日(土)には県看護協会通常総会を開催します。26年度の決算の承認をいただきます。役員改選もあります。総会の後は職能別交流集会を開催します。6月21日(日)は、トピックス研修で、アメリカのイリノイ州・聖アンソニー看護大学の先生方と竹熊麻子先生によるアメリカのナースの専門分野での活動と看護管理に関する内容となっています。

最後に、「まちの保健室事業」にボランティアとしてたくさんの会員の皆様にご協力いただいておりますことに感謝申し上げ、皆様の益々のご健勝とご活躍を祈念してご挨拶といたします。

平成27年4月吉日

平成27年度 通常総会プログラム

期 日：平成27年6月20日(土) 9:30～13:40

場 所：熊本県立劇場 演劇ホール

8:40 開 場

9:20 オリエンテーション

9:30 開 会

物故会員への黙祷

会長挨拶

熊本県看護協会会長表彰

来賓祝辞

来賓紹介

祝電披露

10:30 閉 会

10:35 総会開会

議長団選出

議長挨拶

議事録署名人の選出

10:40 議事開始

報告事項

報告事項1 平成26年度 事業報告

平成26年度 理事会報告

平成26年度 支部長会報告(書面報告)

平成26年度 職能委員会報告

平成26年度 委員会報告(常任委員会・
特別委員会)(書面報告)

平成26年度 支部事業報告(書面報告)
(説明、質疑)

報告事項2 平成27年度公益社団法人日本看護協会
通常総会代議員報告

11:20

審議事項

第1号議案 平成26年度 決算報告(案)及び監査報告
(説明、質疑、採決)

第2号議案 改選役員・委員等の選出について

(選挙管理委員紹介、候補者紹介、投票)

・平成27年度 改選役員及び推薦委員候補者紹介

・平成28年度 日本看護協会通常総会代議員

及び予備代議員候補者紹介

平成27年度選挙管理委員任命

12:00 昼 食

12:50 報告事項

報告事項3 平成27年度 重点事業並びに事業計画

報告事項4 平成27年度 収支予算

(質疑、応答)

13:20 新任役員紹介

平成27年度職能委員紹介

会長挨拶

日本看護協会歌斉唱

13:40 閉 会

※進行上の都合により時間等が変更となる場合があります。

平成27年度 職能別交流集会プログラム

期 日：平成27年6月20日(土) 14:00～16:00

場 所：熊本県立劇場 演劇ホール

14:00 職能別交流集会

保健師交流集会(会場：地階 演劇リハーサル室)

テーマ：「認知症の早期発見とネットワーク」

～若年者から高齢者まで～

講 師：熊本大学大学院生命科学研究部

神経精神医学分野助教 石川 智久 氏

山鹿市長寿支援課包括支援センター

保健師 工藤 麻美 氏

助産師交流集会(会場：2階 中会議室)

テーマ：「地域を動かす助産の力」

講 師：一般社団法人 矢島助産院

院長 矢島 床子氏

看護師Ⅰ・Ⅱ交流集会(会場：演劇ホール)

テーマ：「看看連携のために知っておきたい看護師

職能Ⅱの医療と看護の範疇(はんちゅう)」

パネルディスカッション

16:00

コーディネーター：調整中

閉 会

通常総会提出議題

第1号議案 平成26年度 決算報告(案)及び監査報告

第2号議案 改選役員・委員等の選出について

重点事業

1. 地域包括ケアシステムにおける看護
2. 働き続けられる労働環境改善の推進

重1

地域包括ケアシステムにおける看護職の役割発揮の推進 (公益1)

1. 地域包括ケアシステムにおける看護職の役割発揮の推進
 - 1) 熊本県における地域包括ケアシステム構築の現状把握
 - 2) 多職種との連携推進の研修の開催
 - 3) 医療機関看護師の在宅療養支援のための訪問看護研修の開催
 - 4) 認知症対応能力向上の研修開催推進への協力
2. 訪問看護の推進等に関する事業
 - 1) 訪問看護師養成に関する研修の開催
 - 2) 訪問看護管理者研修の開催
 - 3) 訪問看護スキルアップ研修の開催
 - 4) 高齢者ケア施設で働く看護師の質の向上への支援
 - 5) 高齢者ケア施設の看護管理者交流会の開催
 - 6) 多職種との連携による研修の開催
 - 7) 多様な住まいの場における看取り支援事業(県委託)
 - ①施設の実態調査
 - ②介護職への看取りの研修会
 - ③住民への看取りに関する講演会
3. 訪問看護ステーションICTシステム支援事業(県補助)
 - 1) 訪問看護ソフトの開発及び試行
 - 2) 検討会の開催
4. 訪問看護・居宅介護支援事業
 - 1) 熊本県看護協会立訪問看護ステーション・居宅介護支援事業の運営
 - 2) 訪問看護サービスの質向上と人材育成
5. 訪問看護ステーションサポートセンター事業(県補助)
 - 1) 訪問看護ステーション関係者等からの相談対応及び情報収集・情報提供
 - 2) 各地区における訪問看護ステーションとの情報交換会
 - 3) 訪問看護サービスの周知広報DVD「安心を支える訪問看護」の配布と活用
 - 4) 平成27年度訪問看護関連報酬改定説明会の開催



重2

働き続けられる労働環境改善の推進 (公益1)

1. 働き続けられる労働環境づくり支援事業
 - 1) 看護職員確保対策支援事業(県委託)
 - ①ワーク・ライフ・バランス取り組み施設へのワークショップ等をととしての支援
 - ②支援者としてのファシリテーション研修会(日本看護協会主催)への参加
 - ③好事例の紹介(協会ホームページ・協会誌「看護くまもと」、「ナースセンター便り」等)
 - ④セカンドキャリア支援事業
 - 2) 熊本県の「医療勤務環境改善支援センター」の周知と運営委員会への参画
 - 3) 日本看護協会「DiNQL」事業の周知と参加の呼びかけ
2. 看護職員の就労支援・ナースバンクの活用促進
 - 1) 離職看護職の届け出制の普及と活用促進
 - 2) 潜在看護職員等再就業支援事業(県委託)
 - 3) ハローワークでの相談業務の拡大(1か所から9か所に拡大)
 - 4) 4地区に就業相談の窓口設置(菊池、玉名、八代、天草)
 - 5) 就業に関する相談及び指導
 - 6) ホームページによる広報の充実
 - 7) 未就業者看護職員の実態と就業希望条件等の把握及び看護職員需要施設の把握
 - 8) 熊日看護師就職ガイダンスの共催
3. 看護の心普及事業
 - 1) 「看護の日」記念式典・講演会の開催
 - 2) 高校生の一日看護体験・看護学生体験の実施
 - 3) 「看護師の進路」出前授業の円滑な運営
 - 4) 高等学校等進路担当者への説明会の開催
 - 5) 「看護職をめざすあなたへ」の高校生等への配布



事業計画

公益社団法人熊本県看護協会

職の役割発揮の推進

3. 看護の質向上のための継続教育の充実

4. 県民への健康づくりの支援活動の推進

重3

看護の質向上のための 継続教育の充実

(公益1)

1. 継続教育に関する事業

- 1) 各領域の看護実践を支える研修
- 2) 職能別研修の開催
 - ①保健師職能:中堅期保健師コンサルテーションプログラム研修
 - ②助産師職能:骨盤ケアに関する研修
 - ③看護師職能I:労働と看護の質向上のためのマネジメントサポート~看護をDiNQLで可視化しよう~
 - ④看護師職能II:多様な住まいにおける看取り研修
- 3) 各委員会の課題達成のための研修

2. 県からの委託事業

- 1) 看護学生実習指導者講習会の実施
- 2) 新人看護職員研修責任者等研修の開催
- 3) 看護補助者活用推進事業の実施

3. 認定看護管理者等に関する事業

- 1) ファーストレベル・セカンドレベル研修会の実施
- 2) ファーストレベル・セカンドレベル研修の一部聴講の実施
- 3) 専門看護師・認定看護師と看護管理者の交流会の開催

4. その他

- 1) 「特定行為に係る看護師の研修制度」の普及に向けた説明会

重4

県民への健康づくりの 支援活動の推進

(公益1)

1. まちの保健室事業

- 1) 鶴屋「まちの保健室」の運営
- 2) 各支部における「まちの保健室」事業の支援
- 3) 「まちの保健室」ボランティアの募集・更新のための交流会・研修会の開催
- 4) 熊本市保健医療専門団体連合会への協力
 - ①熊本市保健医療専門団体連合会との連携と「熊本市健康フェスティバル」の参加協力
 - ②シティFM「健康サロン」における情報提供

2. 災害時の看護支援活動に関する事業

- 1) 災害支援ナースの登録・更新の促進
- 2) 災害支援ナースの養成研修
- 3) 災害看護フォローアップ研修会の開催
- 4) 熊本県看護協会災害支援要綱の受け入れマニュアルの検討
- 5) 熊本県総合防災訓練等への参加

3. 次世代育成支援に関する事業

- 1) 支部と連携し性教育の出席授業派遣の体制整備
- 2) 「いいお産の日」の開催
- 3) 熊本県小児救急電話相談事業相談員（#8000）への支援

その他

その他重要な継続事業

1. 准看護師から看護師への移行支援事業

- 1) 准看護師交流会の実施
- 2) 研修会の開催(准看護師のためのレポートの書き方)
- 3) 2年課程通信制看護学校進学のための情報提供
- 4) 日本看護協会作成「未来に向かって~いきいきと働きつづけるために~」非会員への冊子配布

2. 医療・看護の安全対策に関する事業

- 1) 医療安全管理者の育成並びにネットワークづくり
- 2) 医療・看護安全対策に関する教育・啓発
- 3) 「医療事故に係る調査制度の創設」に向けての支援体制整備

3. 看護に関する調査及び研究に関する事業

- 1) 調査・研究
 - ①教育委員会:一般研修(感染対策)に関するアンケート調査報告書の作成
 - ②看護師職能I委員会:一般病棟を有する病院における看護補助者の活用に関するアンケート調査報告書の作成
- 2) 平成27年度熊本県看護研究学会の開催(平成28年3月6日:熊本県立劇場)

資金収支予算書

平成27年 4月1日から平成28年 3月31日まで

(単位:円)

科 目	予算額	前年度予算額	増 減	備 考
I 事業活動収支の部				
1 事業活動収入				
特定資産利息収入	60,000	60,000	0	特定資産預金利息
会費収入	98,150,000	97,500,000	650,000	6,500円×15,100人(27年度予想会員数)
会館建設整備資金収入	12,000,000	12,000,000	0	30,000円×400人(新入会員)
事業収入	200,459,964	192,011,745	8,448,219	
セミナー受講料収入	21,000,000	23,000,000	△ 2,000,000	各種研修会受講料
認定看護管理者制度教育収入	12,500,000	12,400,000	100,000	ファースト100,000円×75人=7,500,000円 セカンド150,000円×30人=4,500,000円 聴講等5,000円×100人=500,000円
センター使用料収入	1,660,000	1,660,000	0	県受託事業の会場使用料他
ナースセンター事業受託収入	22,176,000	11,511,132	10,664,868	県受託事業
看護学生等実習指導者養成事業受託収入	2,400,000	2,400,000	0	"
新人看護職員研修責任者等 研修事業受託収入	3,499,964	3,498,000	1,964	"
訪問看護ステーション・医療機関看護師の 相互研修受託収入		976,000	△ 976,000	平成27年度以降廃止
看護職員確保対策支援事業受託収入	9,329,000	18,000,000	△ 8,671,000	県受託事業
訪問看護普及啓発事業受託収入		4,900,000	△ 4,900,000	平成27年度以降廃止
学会収入		8,083,613	△ 8,083,613	日本看護学会
多様な住まいの場における 看取り支援事業受託収入	6,671,000		6,671,000	県受託事業
潜在看護師再就業支援事業受託収入	12,199,000		12,199,000	"
看護補助者管理者研修事業受託収入	1,036,000		1,036,000	"
高校生の1日看護体験・ 看護学生体験事業受託収入	2,011,000		2,011,000	"
老人訪問看護療養費収入	12,600,000	11,800,000	800,000	訪問看護ステーション収入
老人訪問看護基本利用料収入	700,000	830,000	△ 130,000	"
訪問看護療養費収入	28,000,000	34,000,000	△ 6,000,000	"
訪問看護基本利用料収入	3,490,000	3,900,000	△ 410,000	"
居宅サービス事業収入	44,600,000	39,000,000	5,600,000	"
居宅介護支援事業収入	9,200,000	9,000,000	200,000	"
居宅サービス利用者負担金収入	3,900,000	3,700,000	200,000	"
訪問看護その他収入	160,000	150,000	10,000	"
学生等教育実習収入	320,000	350,000	△ 30,000	"
地代家賃収入	2,903,000	2,703,000	200,000	駐車場収入
手数料収入	105,000	150,000	△ 45,000	販売手数料・コピー代
助成金収入	10,008,525	10,006,340	2,185	
教育事業助成金	8,558,050	8,555,880	2,170	日本看護協会 750万円+70円×前年度(H26年度) 会費納入者数(15,115人)
看護の日助成金	100,000	100,000	0	日本看護協会 一律100,000円
会員登録事務業務受託収入	1,282,475	1,280,460	2,015	日本看護協会 会員登録事務業務受託収入 H26年度会員数(15,115人)×65円+300,000円
代議員選出業務受託収入	68,000	70,000	△ 2,000	日本看護協会
補助金等収入	26,100,000	9,000,000	17,100,000	
訪問看護ステーションサポートセンター 運営事業補助金	9,000,000	9,000,000	0	県補助事業
訪問看護ステーションICTシステム 支援事業補助金	17,000,000		17,000,000	県補助事業
災害医療研修強化事業補助金	100,000		100,000	県補助事業
負担金収入	1,700,000	1,130,000	570,000	インターネット配信研修運営協力金
寄付金収入	800,000	701,000	99,000	東洋羽毛
雑収入	1,475,220	859,000	616,220	
利息収入	40,220	39,000	1,220	普通預金利息
雑収入	1,435,000	820,000	615,000	
事業活動収入計	350,753,709	323,268,085	27,485,624	
2 事業活動支出				
事業費支出	291,928,583	268,077,672	23,850,911	
役員報酬支出	8,222,204	7,916,204	306,000	理事報酬
給料手当支出	78,500,650	75,469,220	3,031,430	職員給与
臨時雇賃金支出	54,396,000	47,621,668	6,774,332	非常勤職員給与
法定福利費支出	17,744,200	17,062,000	682,200	社会保険料・労働保険料
福利厚生費支出	584,680	517,020	67,660	健康診断・予防接種
会議費支出	515,000	525,000	△ 10,000	会議時飲食代・委員会参加費
研修費支出	3,851,000	3,476,000	375,000	研修時飲食代・研修会参加費
旅費交通費支出	18,463,680	20,035,720	△ 1,572,040	交通費
通信運搬費支出	9,958,342	5,971,910	3,986,432	電話代・切手代
消耗品費支出	11,263,920	9,625,840	1,638,080	事務用消耗品他
修繕費支出	1,420,000	932,670	487,330	施設・機械等修理代
印刷製本費支出	5,489,400	5,261,400	228,000	研修計画書等印刷代
車両費支出	1,010,000	1,070,000	△ 60,000	ステーション等車両ガソリン代
光熱水料費支出	3,831,600	3,836,360	△ 4,760	電気・ガス・水道代

科 目	予算額	前年度予算額	増 減	備 考
賃借料支出	14,102,490	13,627,189	475,301	パソコン・車両・土地賃借料
会場使用料支出	4,783,564	7,613,000	△ 2,829,436	看護研究学会・看護の日・支部研修会会場使用料
保険料支出	1,237,280	1,227,280	10,000	ボランティア保険・車両保険・火災保険料
広告宣伝費支出	13,065,840	14,521,800	△ 1,455,960	看護の日ポスター・チラシ・新聞広告・看護くまもと
諸謝金支出	25,535,000	22,279,473	3,255,527	講師謝金
渉外費支出	5,000	5,000	0	関係機関渉外費
租税公課支出	4,701,840	4,645,000	56,840	印紙税・消費税・固定資産税
諸会費支出	76,130	81,000	△ 4,870	JAF会費他
負担金支出	398,000	395,000	3,000	医専連・市民健康フェスティバル分担金他
寄付金支出		20,000	△ 20,000	
委託費支出	8,100,000		8,100,000	ICTシステム構築委託料
清掃費支出	1,584,520	1,542,000	42,520	清掃代・ゴミ収集代
保守料支出	1,453,633	1,289,918	163,715	電気・自動ドア・消防設備・エレベータ保守料他
雑支出	1,634,610	1,510,000	124,610	NCCS(ナースセンター コンピューターシステム)業務委託料他
管理費支出	45,963,558	44,546,499	1,417,059	
役員報酬支出	9,606,396	9,415,728	190,668	理事報酬・監事報酬
給料手当支出	15,084,274	14,641,020	443,254	職員給与
法定福利費支出	3,935,800	3,578,000	357,800	社会保険料・労働保険料
福利厚生費支出	1,633,320	1,785,400	△ 152,080	会員の慶弔費・災害見舞金・懇親会
会議費支出	189,649	238,000	△ 48,351	会議時飲食代
研修費支出	30,000	30,000	0	研修代
旅費交通費支出	2,992,920	3,155,000	△ 162,080	交通費
通信運搬費支出	1,296,298	1,361,500	△ 65,202	電話代・切手代
消耗品費支出	1,364,160	1,425,000	△ 60,840	事務用消耗品・総会用消耗品
修繕費支出	160,000	100,000	60,000	施設・機械等修理代
印刷製本費支出	2,655,600	2,610,400	45,200	総会資料等印刷代
光熱水料費支出	384,000	384,000	0	電気・ガス・水道代
賃借料支出	1,545,980	963,331	582,649	パソコン・土地賃借料
会場使用料支出	745,000	663,000	82,000	通常総会会場使用料
保険料支出	94,720	87,720	7,000	火災保険料・支部レクリエーション保険
広告宣伝費支出	509,160	403,200	105,960	看護くまもと
諸謝金支出	980,000	952,000	28,000	会計士報酬他
渉外費支出	230,000	236,000	△ 6,000	関係機関渉外費
租税公課支出	1,367,560	1,296,000	71,560	消費税・固定資産税
諸会費支出	408,000	403,000	5,000	公益法人協会年会費他
寄付金支出	20,000		20,000	健康を守る婦人の会
清掃費支出	267,528	270,000	△ 2,472	清掃代・ゴミ収集代
保守料支出	341,113	380,000	△ 38,887	電気・自動ドア・消防設備・会計システム保守料他
雑支出	122,080	168,200	△ 46,120	手数料他
事業活動支出計	337,892,141	312,624,171	25,267,970	
調整前事業活動収支差額	12,861,568	10,643,914	2,217,654	
法人税等支出	150,000	150,000	0	
事業活動収支差額	12,711,568	10,493,914	2,217,654	
II 投資活動収支の部				
1 投資活動収入				
特定資産取崩収入	4,684,200	0	4,684,200	
減価償却引当預金取崩収入	4,684,200		4,684,200	受配電設備及び赤ちゃん人形分
投資活動収入計	4,684,200	0	4,684,200	
2 投資活動支出				
特定資産取得支出	21,195,308	20,539,220	656,088	
役員退職慰労引当預金取得支出	583,875	583,875	0	役員退職慰労費用分預入
退職給付引当預金取得支出	8,611,433	7,955,345	656,088	退職給付費用分預入
会館建設資金預金取得支出	12,000,000	12,000,000	0	会館建設資金預入
固定資産取得支出	4,684,200	0	4,684,200	
付属設備建設支出	4,444,200		4,444,200	受配電設備 九州電気保安協会
什器備品購入支出	240,000		240,000	赤ちゃん人形120,000円×2体
投資活動支出計	25,879,508	20,539,220	5,340,288	
投資活動収支差額	△ 21,195,308	△ 20,539,220	△ 656,088	
III 財務活動収支の部				
1 財務活動収入				
財務活動収入計	0	0	0	
2 財務活動支出				
財務活動支出計	0	0	0	
財務活動収支差額	0	0	0	
IV 予備費支出	16,680,000	15,080,000	1,600,000	
当期収支差額	△ 25,163,740	△ 25,125,306	△ 38,434	
前期繰越収支差額		154,739,973	△ 154,739,973	
次期繰越収支差額	△ 25,163,740	129,614,667	△ 154,778,407	

(注)1 借入金限度額 0円

2 債務負担額 19,063,259円(平成27年度 5,375,028円、平成28年度 4,502,493円、平成29年度 4,130,688円、平成30年度 3,026,100円、平成31年度1,912,958円、平成32年度115,992円)

平成27年度役員・推薦委員並びに 平成28年度日本看護協会代議員・予備代議員候補者名簿

改選役員 候補者名

役職名	氏名	職能	所属施設名	
有明・鹿本地区理事	鏡 育代	看	公立玉名中央病院	再
菊池・阿蘇地区理事	野田小百合	看	熊本リハビリテーション病院	再
熊本南地区理事	井手 州子	看	個人	再
上益城・宇城地区理事	松本 佳子	看	宇城総合病院	再
天草地区理事	森 こそえ	看	上天草総合病院	再

推薦委員候補者名

氏名	職能	所属施設名
田畑 敏子	保	熊本県八代保健所
和田 恭子	保	水俣市役所
古川 文子	助	慈恵病院
岩上とし子	助	阿蘇温泉病院
山下 京子	看	熊本労災看護専門学校
宮本美奈子	看	熊本機能病院
告吉ゆかり	看	人吉医療センター
樋口 友子	看	天草地域医療センター

平成28年度 日本看護協会代議員・予備代議員 候補者名 代議員

支部名	氏名	職能	所属施設名
熊本県看護協会	堀田 美波	保	熊本県立大学地域連携センター
熊本県看護協会	竹田 和子	助	熊本県看護協会
熊本県看護協会	島村 富子	保	熊本市児童相談所
熊本県看護協会	吉村 圭子	助	熊本市立熊本市民病院
熊本県看護協会	開田ひとみ	看	九州看護福祉大学
熊本県看護協会	大塚 恵里	准	阿蘇温泉病院
有明・鹿本	平井 敦子	保	山鹿市役所
菊池・阿蘇	田淵 徳子	保	阿蘇市役所
熊本 東	瀧本 知子	看	くまもと森都総合病院
熊本 西	内村しのぶ	看	青磁野リハビリテーション病院
	片平 起句	助	福田病院
熊本 南	松岡 広子	看	御幸病院
	吉田 幸代	看	城南病院
上益城・宇城	仲田つるみ	看	谷田病院
八代・水俣・北人吉・球磨	白坂 亮子	看	水俣市立総合医療センター
天 草	若山美也子	看	天草第一病院

予備代議員

支部名	氏名	職能	所属施設名
熊本県看護協会	嶋田 晶子	看	熊本県看護協会
熊本県看護協会	白岩 生美	看	熊本県看護協会
熊本県看護協会	牛島 絹子	保	日本赤十字社熊本健康管理センター
熊本県看護協会	川野 照代	助	水俣市立総合医療センター
熊本県看護協会	耕 理千子	看	熊本市立植木病院
熊本県看護協会	成松 美雪	准	くまもと成仁病院
有明・鹿本	長迫 尚美	保	山鹿市役所
菊池・阿蘇	熊谷 直美	看	阿蘇温泉病院
熊本 東	志免 美和	看	くまもと森都総合病院
熊本 西	寺田美智子	看	青磁野リハビリテーション病院
	田中 優子	助	福田病院
熊本 南	坂田 恵美	看	あきた病院
	岡本つるみ	看	杉村病院
上益城・宇城	谷口 幸子	看	間部病院
八代・水俣・北人吉・球磨	遠山真智子	看	水俣市立総合医療センター
天 草	堀川 幸美	看	天草厚生病院

救護ボランティア派遣のご協力ありがとうございました

2月15日(日)熊本城マラソン

協力施設：九州記念病院・訪問看護ステーションいきいきらいふ・朝日野総合病院・熊本労災病院

3月22日(日)オハイエくまもと とおきの音楽祭

協力施設：公立玉名中央病院・くまもと森都総合病院・くまもと成仁病院・熊本中央病院
水前寺とうや病院・熊本大学医学部附属病院・済生会熊本病院・熊本市立熊本市民病院



平成26年度 活動報告

保健師職能委員会

- 委員長 島村 富子
 副委員長 山口 康代
 委員 上田 公代 中原 倫子 牛島 絹子
 姫野 晶子 大川加須美 福山由起子
 矢幡 茜



活動目標

- ・ 県民の疾病予防、健康の保持増進のために、各職域団体に所属する保健師からなる熊本県看護協会保健師ネットワーク会議を通じて各職能団体の連携の強化を図る。
- ・ 保健師の専門性を発揮するために課題解決に向けた取り組みを行い、保健師の活動基盤の強化と資質向上を図る。

活動方針

- 方針1) 熊本県看護協会保健師ネットワーク会議の開催による連携強化
- 方針2) 資質向上および課題解決のための研修会の開催
- 方針3) 会員拡大への取り組み

活動状況

方針1)について

各職域団体にいる保健師が、連携を深め協働して保健師職能の組織強化を図り、保健師活動の専門性を高めることを目的に、熊本県職員保健師会、熊本市保健師看護師連絡協議会、市町村保健師協議会、全国保健師長会熊本県支部、熊本県産業保健研究会と熊本県看護協会保健師職能委員会の6団体による「熊本県看護協会保健師ネットワーク会議」が平成17年度に設置された。

保健師が保健師らしく自信を持って専門性を発揮するためには、行政改革や教育制度、保健・医療・福祉の連携を自分のこととして足下から解決していく努力が必要である。そのために、多様な場で活動する保健師を取り巻く現状を共有し、意見集約及び課題整理を行い、研修等の企画・実施を協働して展開する県内の各職域団体からなる「熊本県看護協会保健師ネットワーク会議」の存在はかせない。

平成26年10月18日(土) 熊本県看護協会研修センターにおいて15名が参加し開催。①中長期保健師の育成について②看護協会の会員の拡大についての意見交換を実施した。①中長期保健師の育成について、来年度から県と看護協会の共催で実施し、参加する際は看護協会への入会が必要。研修対象者は行政のみでなく、健診機関など産業保健師へも参加を広げていく予定。事業の展開方法を学ぶのではなく、誰がどうなってほしいのかを見据えて行う研修。産業保健師にも十分スキルアップになると思われる。など伝えた。

研修は課題も多く参加者にとっては大変だが、最終的に政策提言まで見据えて行い、データ分析や法的根拠の確認も行うプログラムである。職場で事業を実際に展開する必要があるため職場の理解が必要であり、ミーティング自体もプログラムの中に位置づけてある。研修最後の参加者のプレゼンテーションが素晴らしく、指導者側も勉強になり、互いにスキルアップとなる研修である。参加者の年代は経験年数10～20年の保健師で、出席者選定にあたっては、今後ネットワーク構成機関を通して協力を確認した。研修会参加をきっかけに、看護協会会員拡大にもつながると思われる。

方針2)について

これまでの研修は、地域住民の健康課題の解決のために、保健師間の連携を考えてきたが、介護予防やNICU入院児の在宅移行などは、病院や企業、地域包括支援センターで働く助産師や看護

師との連携をすることで効果を上げている。そこで、今回の研修では、看護職間の連携の重要性についての再認識、更なる連携強化の方策について全体で考える機会とした。研修名を「つなぐ、そしてともに関わる～看護師間のネットワークを考えよう～」とし、平成27年1月31日(土)13:30から開催し71名の参加があった。

厚生労働省先駆的保健活動交流推進事業「地域包括ケアシステム構築のための保健師強化プログラムの報告」～地域包括ケアシステムの構築と保健師の役割～を合志町役場の保健師よりの報告があり、その後、看護師間の連携を取り組んだ事例3題の発表を実施した。

連携は目的ではなく、人々の暮らしをエンパワーすることであり、手段である。連携をしていくプロセスが大事。「個人と個人」「個人と組織」の連携が必要。連携は役割分担をすること。看護職同士がつながることは看護職がエンパワーすることになり、それは地域全体がエンパワーすることになる。まずは、看護職同士が連携をし、どこにいても看護を受けられる状況にすることが必要。そして、他職種と連携することが必要。それが、地域ケアシステムになる。地域コミュニティーがエンパワーされる。高齢者だけの問題ではなく、子どもも同じとコーディネーター荒木教授がまとめられた。

方針3)について

会員拡大に向けて、保健師職能交流集会では、国民の健康寿命の延伸をめざす新たな取り組みとしての「データヘルス計画」を実施し、テーマに興味を示し、市町村や医療機関からの出席が多かった。医療機関や健診機関の保健師も興味ももてるテーマにしたことで参加が多く、この機会をとらえ勧誘をおこなった。また、県内の各職域団体からなる「熊本県看護協会保健師ネットワーク会議」では、看護協会入会者拡大に向けて検討し、看護協会の情報を多くの保健師に届けることで看護協会入会のメリットを伝え保健師会員の拡大をめざすことの重要性を確認した。

保健師の会員拡大は全国共通の課題となっており、保健師が関わる健康課題は多岐にわたり、働く職域も拡大している状況下で、職能団体としての協会の意義等を発信していく必要がある。

まとめ

保健師活動は行政施策の流れと、社会のニーズに直結し、新たな健康課題が次々と顕在化する中で、既存の活動の上に積み重ねて展開している。日本看護協会は、1.地域における重症化予防対策 2.保健師のキャリア形成推進事業の重点事業、 3.系統的現任教育体制の構築 4.保健政策に関する政策提言 5.国際的な保健師ネットワークの構築6.東日本大震災復興支援研修を提案し平成26年度の保健師関連事業と示している。

保健師が保健師らしく自信を持って専門性を発揮するためには、行政改革や教育制度、保健・医療・福祉の連携、保健事業の増大による様々な問題を、自分のこととして足下から解決していく努力が必要である。そのために、熊本県看護協会保健師ネットワーク会議による連携を強化し、会員との相互連携により会員個々の意見等が反映できるような仕組みづくりをする。日本看護協会職能委員会と連携を強化し、政策提言につながる取り組みをしていきたいと考えている。保健師の皆様の協働・参画をよろしく願いたい。

助

平成26年度 活動報告

産師職能委員会

- 委員長** 吉村 圭子
副委員長 浅尾 由美
委員 末永 芳子・和田 千春・浮池 美希
近藤 景子・福山 由美・宮川 智美
小田原由香里



活動目標

母子保健の保持増進にむけて助産師の資質向上と関係機関との連携を目標とし、本年度は以下の3項目を掲げ活動した。

- 目標1) 母子保健の保持増進に向けて、助産師としての専門性を発揮し助産師の資質向上を目指す。
目標2) 次世代育成支援の推進を図る。
目標3) 助産師を取り巻く課題を把握し、関係機関と情報共有を図る。

活動内容

目標1. 助産師としての専門性を発揮し助産師の資質向上を目指すについて

日本看護協会は、平成25年度に引き続き「助産実践能力の強化およびその体制整備」を重点事業に挙げ助産師の資質向上を目的として助産実践能力習熟段階(クリニカルラダー)の普及啓発および助産実践能力習熟段階(クリニカルラダー)レベルⅢ認証制度推進に向けて取り組んできた。本委員会でもそれを受けて本年度の研修は、助産実践能力習熟段階(クリニカルラダー)レベルⅢ認証に必要な研修である「産科危機的出血」について熊本市市民病院産科部長蔵本昭孝氏に講演して頂いた。63名の参加者があり、出血時の観察のポイントやアセスメント、実際の対応、塞栓術等の最新の治療について知識の習得が出来た。

産科管理者に対する研修として、日本看護協会理事福井トシ子氏による特別講演「産科混合病棟ユニットマネジメントの提案」を開催した。30名の産科管理者が参加し、産科混合病棟の課題とその解決策について企画書の作成や交渉術に至るまで学ぶことが出来た。

助産師交流集会では、「熊本県の母子を守れ! 熊本県母子保健事業について」というテーマで熊本県健康福祉部子ども未来課課長補佐與田千枝子氏より熊本県母子保健事業について講演頂き、熊本県の母子保健の現状とそれに対する取り組みについて、幅広く繋がりをもって理解することが出来た。

また、助産師交流集会では、助産実践能力習熟段階(クリニカルラダー)や平成27年度開始される助産実践能力習熟段階(クリニカルラダー)レベルⅢ認証制度についての普及活動を行った。

目標2. 次世代育成支援の推進について

次世代育成支援事業として、本協会助産師職能委員は熊本県性教育研究会定例会議に毎月1回参加している。会議に参加することで学校教諭、養護教諭との情報共有や交流を深めることが出来た。

1月定例会議では助産師職能委員会から「家族・小さい命の大切さ~NICUからのメッセージ~」と題して、早産の予防、家族の大切さや子どもの命の尊さについて発表した。

助産師職能委員会では、看護職と性教育関係者との情報共有や連携強化を目的に性教育ネットワーク連絡会を開催し

ている。昨年に引き続き本年度も熊本県助産師会助産部赤木夏代氏から「高校生・保護者への性教育」について講演して頂いた。授業の進め方として中学生と高校生の違いや保護者への指導について、具体的な内容について知識を深めることが出来た。看護師、保健師、助産師、養護教務、学生の21名が参加し、関係する職種がお互いに学び合う機会となった。

本年度の性教育出前授業出勤数は高校2回、中学校8回であった。性教育出前授業の要請は年々増え続けており、助産師職能委員だけでは対応が難しくなっている。そこで今回性教育ネットワーク連絡会に続けて性教育出前授業講師協力説明会を開催し、10名が協力員として登録を行った。

また本年度は性教育出前授業で使用している出前授業用テキスト(DVD)の内容を見直しエンドロールを作成追加したことで、テキスト内容の充実を図ることが出来た。

目標3. 助産師を取り巻く現状把握と、関係機関との情報共有について

産科管理者交流会を通して、日頃の悩みを語り合い情報共有することを目的に「産科混合病棟ユニットマネジメントの提案」の講演に続いて「産科管理者交流会」を実施した。参加者の職位としては部長・副部長が3名、師長・副師長(主任)が20名であった。アンケートからは全員が「悩みの共有が出来た」「大体できた」と回答し、29名中27名が「今後の活力になった」と回答している。この結果より交流会の目的は達成されたと考える。

本年度は日本看護学会ヘルスプロモーション学術集会在熊本で開催された。助産師職能委員も学会の進行に携わることができ、貴重な体験が出来た。

<その他>

セーフマザーフット基金への募金活動は総額 9,852円であった。例年通り日本看護協会に送金した。ご協力に感謝する。

まとめ

日本看護協会は助産師の実践能力強化とキャリア開発の促進を目的とし助産実践能力習熟段階(クリニカルラダー)を策定し、その中で各レベルに応じた教育プログラムを掲示している。本協会も平成25年度に引き続き助産師の資質向上のための研修として、教育プログラムの必須研修の中から研修を開催してきた。

助産実践能力習熟段階(クリニカルラダー)については職能別交流集会や交流会で普及活動を行ってきたが、まだ十分には周知できていない。次年度は助産実践能力習熟段階(クリニカルラダー)レベルⅢ認証制度が開始される。本委員会としては、さらなる理解と普及に努めることが課題である。

産科管理者交流会では産科管理者が一堂に集い情報の共有や悩みを分かち合うことができた。次年度も引き続き交流会を開催し、助産実践能力向上のため管理者としての役割について、お互いの意見交換ができる場を提供したい。

看

平成26年度 活動報告

看護師職能委員会I



委員長 白岩 生美

委員 横田 佳子・成松 美雪・加藤 千恵
穴見 直美・岡部 真紀・藤本 睦代
本口貴美子・大道 友美・池田としえ
佐藤 由里

活動目標

1. 看護実践能力向上と強化体制整備
クリニカルラダーに関する情報収集・普及の準備を進めて行く
2. 看護職の労働条件・労働環境の改善
平成24年に実施したアンケート調査結果を冊子にまとめ配布する
3. 准看護師から看護師への移行支援

活動内容

1. 看護実践能力向上と強化体制整備

質の高い看護を提供するためには専門職として日々研鑽していく努力が必要である。また患者はどの医療施設においても安全で安心な治療・看護を受けられることが重要である。質の担保を確保するためには看護実践能力習得段階クリニカルラダーの普及が求められるところである。しかし現状は一部の施設に導入されているが、その必要性和普及はまだ未だの段階である。委員会ではクリニカルラダーの導入に関する情報収集・普及に向けて準備を進めていく年とした。

まず、平成26年度看護師交流集会において「チームで取り組む認知症ケア『ユマニチュード』を学ぶ」をテーマに講演を実施した。医療現場の問題を反映した内容であり、会員のほか、非会員看護師、一般の方計317名の参加があり関心の高さが伺われた。次に看護師職能Iの研修会では「医療提供体制の変化の中で看護職が責務を果たすために」というテーマで 川本利恵子日本看護協会常任理事に講演を頂いた。64名の看護管理者の参加があり、変化する社会情勢の中で自分たちの住む地域の特性に合った看護職の責務について考えを深めるよい機会となった。

2. 看護職の労働条件・労働環境の改善

「看護体制の実態報告」については平成26年度熊本県看護協会通常総会において一次発表を行ったが、今年度は約4000件の貴重なデータを冊子に取りまとめ配布する。看護

師の職務満足度のアップや夜勤・交代制勤務のガイドライン普及のためにどのような支援が有効か示唆できた。また看護師の労働環境を考える上で問題の1つとなっているのが夜勤・交代制勤務帯での人員不足である。看護職が看護の仕事を優先させるためには看護補助者の活用が必要ではないかと考え、平成27年2月、県内の病院施設に対しアンケート調査を行った。調査結果は平成27年度熊本県看護協会通常総会での発表を予定しており、現在結果の取りまとめに取り掛かっている。

3. 准看護師から看護師への移行支援

日本看護協会の准看護師育成制度の撤廃方針を受け、今年度の交流会も進学支援や進学移行手段の具体的な情報提供を目的として開催し49名の参加があった。医療安全管理者による「医療安全」の講演では日々の看護場面で起こりうる様々なリスクに対し感性を高め、自施設での実践に繋がる良い機会となった。また看護学校や放送大学から進学移行手段についての説明に加え、2名の卒業生の経験談発表があった。進学する上での困難や不安を乗り越える一番の力は家族や周囲の理解だったと涙ながらに話され、看護師になった喜びと熱意が伝わる内容はこれから進学を目指す人々への大きな勇気となった。しかし、このような支援活動にも関わらず、進学者の減少に歯止めが掛からず、定数に満たない看護学校が次年度募集を停止する事態となっていることは誠に残念なことである。看護師職能委員会Iでは今後も交流会を開催し継続的に支援していきたい。

まとめ

医療を取り巻く環境が大きく変化する時代、病院で働く看護職にもその役割の拡大が求められている。看護職がいつまでも元気で働き続けられ、やりがい感が持てる看護のしくみ作りが必要である。平成26年度立ち上がった看護師職能委員会IIと連携を強化しながら取り組んでいきたい。



平成26年度 活動報告

看護師職能委員会Ⅱ

委員長 開田ひとみ

委員 安藤 明子・金森 直美・蔵原由花里
木下 弘子・白川 裕一・平上真紀子
牧野ひとみ・宮原 美子



活動目標

施設、在宅における看護の役割と機能は多様である。看護職の働きやすさの確保と多職種との連携強化を図ることを活動目標とし、第2水曜/月を定例日とし、以下の活動を行った。

活動内容

- 1) 看護職能Ⅱの活動領域である在宅、高齢者施設における多様な住まいの場における看取りを推進する。
- 2) 看護職能Ⅱの活動領域に勤務する看護職の地域包括ケアシステムにおいて果たすべき役割について検討する。
- 3) 医療機関から在宅等における療養への移行推進に伴い在宅療養移行シートの活用について検討する。
- 4) 多職種連携や協働に関する研修会の開催。
- 5) 「介護施設の研修教育プログラムのガイドライン」の活用を推進する。

活動結果及び評価

1)について

多様な住まいの場における看取りを推進するために熊本県の新たな基金を受託し、活動を開始した。今後、介護職員に対する教育ニーズや多様な住まいの場における看取りケアを推進していくためのシステム構築に向けて検討していく。

2)について

平成26年10月より地域包括ケア病棟が始動を始めた。看護職能Ⅱ領域にどのようなニーズが発生するのかを見極め、そのニーズへの対応を検討していく。

3)について

2)のニーズに応じて、移行シートの内容や活用方法について検討を継続する。

4)について

12月20日に日本看護協会と共に高齢者ケア施設看護管理者交流会、2月21日には、介護施設における他職種連携についての看護職能Ⅱ研修会を開催した。非会員の参加も多く、今後の委員会活動につながる評価を得た。

5)について

「介護施設の研修教育プログラムのガイドライン」を推進するために、高齢者ケア施設に同意と協力を呼びかけ、委員会として何らかの形で介入させて頂く予定であったが、施設訪問等の時間確保が困難であり、進めることができなかった。次年度は、多様な住まいの場における看取り事業と併せて検討していく。

今後の課題

地域包括ケアシステムが推進される中、看護連携をはじめ、あらためて、看護職能Ⅱ領域との合同研修会や交流会の開催が必要であることを認識した。また、看護職能Ⅱの活動の理解やその推進、周知頂くために高齢者ケア施設に勤務する看護職の方々の看護協会への入会の必要性が示唆された。



平成26年度熊本県看護協会の理事会開催状況(平成26年12月～平成27年3月)

今回看護くまもとに掲載する理事会開催状況(協議事項)は以下のとおりです。

平成26年度 第10回理事会 平成26年12月18日(木)

- 1.平成26年度事業評価並びに平成27年度継続事業について
- 2.熊本県看護協会災害看護支援要綱について
- 3.平成27年度熊本県看護協会教育委員会企画一般研修について
- 4.平成26年度熊本県看護協会役・職員研修会について
- 5.平成26年度専門看護師・認定看護師と看護管理者の交流会について
- 6.看護師職能委員会 I アンケート調査について

平成26年度 第11回理事会 平成27年1月15日(木)

- 1.平成27年度熊本県看護協会重点事業・事業計画について
- 2.平成27年度熊本県看護協会通常総会・職能別交流集会プログラムについて
- 3.第4回支部長会プログラムについて
- 4.平成28年度日本看護協会代議員・予備代議員数について
- 5.2015年「看護の日・看護週間」事業について

- 6.平成27年度全国看護セミナーについて
- 7.熊本県看護研究学会活性化について
- 8.平成27年度オンデマンド研修について

平成26年度 第12回理事会 平成27年2月19日(木)

- 1.平成26年度第3次補正予算について
- 2.平成27年度熊本県看護協会重点事業・事業計画(案)について
- 3.平成27年度熊本県看護協会会長表彰について
- 4.平成27年度「まちの保健室」ボランティア研修会並びに交流会プログラムについて

平成26年度 第13回理事会 平成27年3月19日(木)

- 1.平成27年度予算(案)について
- 2.平成27年度第1回合同委員会プログラムについて
- 3.平成27年度第1回支部長会プログラムについて
- 4.「看護くまもと93号」の企画について
- 5.「特定行為に係る看護師の研修制度」に関する説明会について

～熊本県看護協会・熊本県看護連盟合同研修会～



石田まさひろ参議院議員

平成26年度県看護協会・県看護連盟合同研修会を本年2月7日、石田まさひろ参議院議員を講師に招き開催しました。テーマは「今後の社会保障制度改革と施策」で257名の参加者があり会場がいっぱいになりました。

石田議員の話は2025年に向けて保健医療福祉分野の変化の重要性についてで、これ迄の「入院患者中心」の発想から「外来、入院、転院、在宅を含めた患者中心」の発想に視点を変えることが必要であること。その他、地域ごとの高齢化の特徴や社会保障財源の現状、地域包括ケアシステムの構築等多岐に亘る話を聞くことができました。参議院の財政金融委員会等に所属し医療看護現場の最前線を十分に把握した話でした。

ところで、政策形態の事業が国から地方に移り、看護関係予算が県予算事業(基金)に組み込まれることとなり、県看護協会・県看護連盟の連携が一層重要となってきました。重ねて、来年は第24回参議院選挙の年です。石田議員からは、たかがい恵美子議員支援のためのブルーのネクタイの話があり、嬉しく思いました。

この研修会も平成3年に始まり今回で25回目を迎えました。この研修会を通して「看護と政治」の繋がりをより多くの看護職の皆様にご理解頂ければ幸いです。(文責/熊本県看護連盟会長 重松節美)

26年度新しく2つの事業に取り組みました

平成26年度専門看護師・認定看護師と看護管理者の交流会

本県では、2015年1月現在専門看護師13名、認定看護師199名が登録されています。そこで2015年2月10日に86名が参加し交流会を開催しました。パネルディスカッションでは「専門看護師・認定看護師としての活動と今後の可能性を探る」のテーマで、熊本大学医学部附属病院本尚美看護部長を座長に専門看護師2名、認定看護師4名の皆様がそれぞれの分野での活動について発表。その後は他分野の人との活発な交流が行われ名刺交換へと繋がった。アンケート結果では、多くの参加者から「来て良かった」「次回も是非続けて欲しい」との声を頂いた。(文責 副会長 嶋田晶子)

—参加者からの一言—

分野は違うが同じ認定看護師として活動状況を聞き、置かれている立場や、悩み問題点について深く共感し、視野を広げモチベーションの向上につなげることができた。また看護管理者側の考えを聞くことで、活動成果をアピールしながら工夫して交渉していかなければならないと感じた。

(熊本労災病院 脳卒中リハビリテーション看護認定看護師 田中孝樹)



(交流会の様子)



(パネルディスカッション)

—座長・パネリスト—

座長:本 尚美氏(熊本大学医学部附属病院 看護部長)

安永浩子氏(がん看護専門看護師) 鎌田晃子氏(小児看護専門看護師)

田口貞子氏(訪問看護認定看護師) 桑原珠代氏(がん放射線療法看護認定看護師)

水町広恵氏(脳卒中リハビリテーション看護認定看護師) 城仁美氏(摂食・嚥下障害看護認定看護師)

平成26年度 セカンドキャリア支援交流会

セカンドキャリア支援交流会に参加して

宇城総合病院 統括看護部長 松本 佳子

去る1月29日に開催された第1回「セカンドキャリア支援交流会」に参加しました。

そろそろ私も定年後の生き方・仕事の仕方について考える時期に差し掛かっており、同年代の友人と逢う度に将来の話になります。これまで30数年看護職として働き、その経験が生かせればと思っていた時期に、看護協会において交流会を企画され、大変興味深く参加しました。

セカンドキャリア支援のための「ナースセンターのサポート体制」「人生マネープラン」「体験報告」と盛り沢山の内容で中身の濃いものでした。



体験談:渡邊さん 上原さん

日頃、漠然と考えることはありますが、「生きがいを持って生活する事」「安心して生活するためのマネープラン」などについて、意欲・体力面での不安が見え隠れする定年前というこの時期に、改めて考える良い時間でした。また、実際活躍されている方々のお話をお聞きできたことも私の自信になりました。

「超高齢化社会に看護職として貢献する」という大きいことではなくても、看護職として自分に合った働き方が自分の生きがいになり、それが地域や社会に役立つことに繋がるなら嬉しく思います。「まだまだ現役！」とはいきませんが、周囲の支援を受けながら看護職としてセカンドキャリアを築いていきたいと思っています。

平成26年度 熊本県看護研究学会

特別講演を聴いて 平成27年3月15日(日) 嘉島町民会館

特別講演
看護師は生きてきたように看護する

講師 熊本県立医科大学看護学研究所 看護職生涯発達分野 宮子あずさ 氏



宮子あずさ氏

研究発表終了後は看護師として現職でありながら文筆活動、講演、大学や大学院での学習支援など幅広く活動されている宮子あずさ氏の「看護師という生き方～看護師は生きてきたように看護する～」の特別講演で、ユーモアあふれる楽しい講演に元気をいただきました。

講師は、看護師として生きてきた27年間を振り返り、ターニングポイントとなった状況や長年働いてきた精神科分野での看護について、どう向き合い、乗り越えてきたかを事例をあげて具体的に話されました。

講師が不器用だった新人時代を「仕事の山は大学通信教育で学んで超えた」、看護職生涯発達分野の博士論文概要から「看護には看護職自身(人となり)が現れる」、講師にとって忘れられない事例をあげて「看護師は事例で育つ、臨床における知の探究」についてと、私たち看護職にとって非常に興味深い話をしていただきました。

講演から客観的に自分の仕事を振り返ることの大切さ、学びながら臨床の知を探求すること、臨床の知を次に引き継いでいくことの大切さを学ぶとともに、看護研究学会の重要性を実感しました。

講演から客観的に自分の仕事を振り返ることの大切さ、学びながら臨床の知を探求すること、臨床の知を次に引き継いでいくことの大切さを学ぶとともに、看護研究学会の重要性を実感しました。

(文責/副会長 堀田 美波)

学会会場で講師の書籍を購入し読みました。ユーモアたっぷりに事例を紹介されており、笑いとうなずきの連続でした。私のおすすめの一冊になりました。T・Kさん



研究発表について (※参加者へのインタビュー)



発表者



症例発表が多く、在宅に向けた支援について活かせる部分が多かった。Kさん

当院の悩み、関わり等が似ていた。当院でも今回の内容やケアを取り入れ、独自性をもって深めていきたい。Hさん

各病院で特徴があり、自分達の病院でも活用できそうな提案(課題)で、とても興味深く聴くことができた。現在研究にも取り組んでいるのでとても参考になった。Tさん



発表者



転職・復職・届出のご相談は お近くのナースセンターへ

ナースセンターでは看護職の定着・確保の「総合拠点」として、転職(就職)や復職等で困った時に看護職から頼りにされる存在を目指しています。
看護職の相談員が、求職・求人に関する相談や復職に関する相談、支援、研修を行っております。



ナースセンターは「看護師等の人材確保の促進に関する法律」をもとに、国の政策として看護職確保対策に関する取り組みを行っています。

2015年10月より看護職の離職時等の届出制度が始まります

2015年10月より看護師等の人材確保の促進に関する法律の改正に伴い、看護職が離職時等にナースセンターへ届出を行う制度が始まります。

無料職業紹介サイト eナースセンターが新しくなりました

2015年4月から新サービス

看護職のための無料職業紹介サイト「eナースセンター」をリニューアルし、さらに使いやすくなりました。



スマートフォンで
求職登録から
求人検索・応募
まで対応

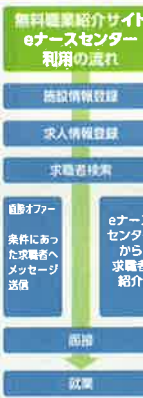
カンタンに お仕事探し

- 簡単ユーザー登録
eナースセンターへの登録が簡単にユーザー登録していない場合でも、求人検索(体験版)ができます!
*全ての操作がスマートフォンで可能になります!
- 簡単お仕事検索
勤務地・待遇など条件に合う求人情報を簡単に検索できます!
*あなたの希望にあった求人情報を自動的にマッチングし、最新らしい情報がメールで届きます!
*全国の求人に直接応募ができます!
*地図上から希望勤務地の求人施設が検索できます!



カンタンに 人材を探す

- 簡単求人登録
*従来の登録項目を大幅に削減し、スピーディーに登録できます!
- 簡単求職者検索
*条件に合った人材を簡単に検索することができます!
- 看護職への直接オファー
*eナースセンターのシステムを通じて求職者へ直接メッセージを送信でき、人材確保のチャンスが広がります!
- 看護職からの直接応募
*ナースセンターを過ぎず求職者から直接応募できるようになります!



<http://www.nurse-center.net/>
(ご利用にはユーザーIDとパスワードが必要です)

消防避難訓練を行いました

当協会職員の方の防災意識の向上と緊急時の迅速な避難活動が行えることを目的に、2月23日(月)午前10時半から看護研修センターで消防避難訓練を実施しました。参加した役員それぞれが自らの役割を十分に把握し、真剣に取り組んだおかげで、一人のけがもなく、無事に訓練を終えることができ、指導いただいた熊本東消防署の職員の方からの高い評価を頂くことができました。

今回の訓練を職場だけに留めず、それぞれの家庭でも課題にするとともに、さらに防火の意識を高く持って日々の業務に当たりたいと思います。



熊本県看護協会会館整備資金納入施設名簿

期日:平成26年12月11日~平成27年3月31日

施設名	件数	金額
公立玉名中央病院	18	540,000
公立多良木病院	1	30,000
熊本整形外科病院	5	150,000
高野病院	4	120,000
水俣市立総合医療センター	8	240,000
済生会熊本病院	64	1,920,000
熊本地域医療センター	28	840,000
熊本市立熊本市市民病院	7	210,000
くまもと森都総合病院	8	240,000
熊本赤十字病院	42	1,260,000
熊本機能病院	20	600,000
天草病院	3	90,000
御幸病院	2	60,000
合計		6,300,000

公益社団法人 熊本県看護協会 主催事業

サンリオキャラクターパーク ハーモニーランド

無料で招待

期間中
【2015年8月1日(土)~
8月31日(月)】に限り

